

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【第五区町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

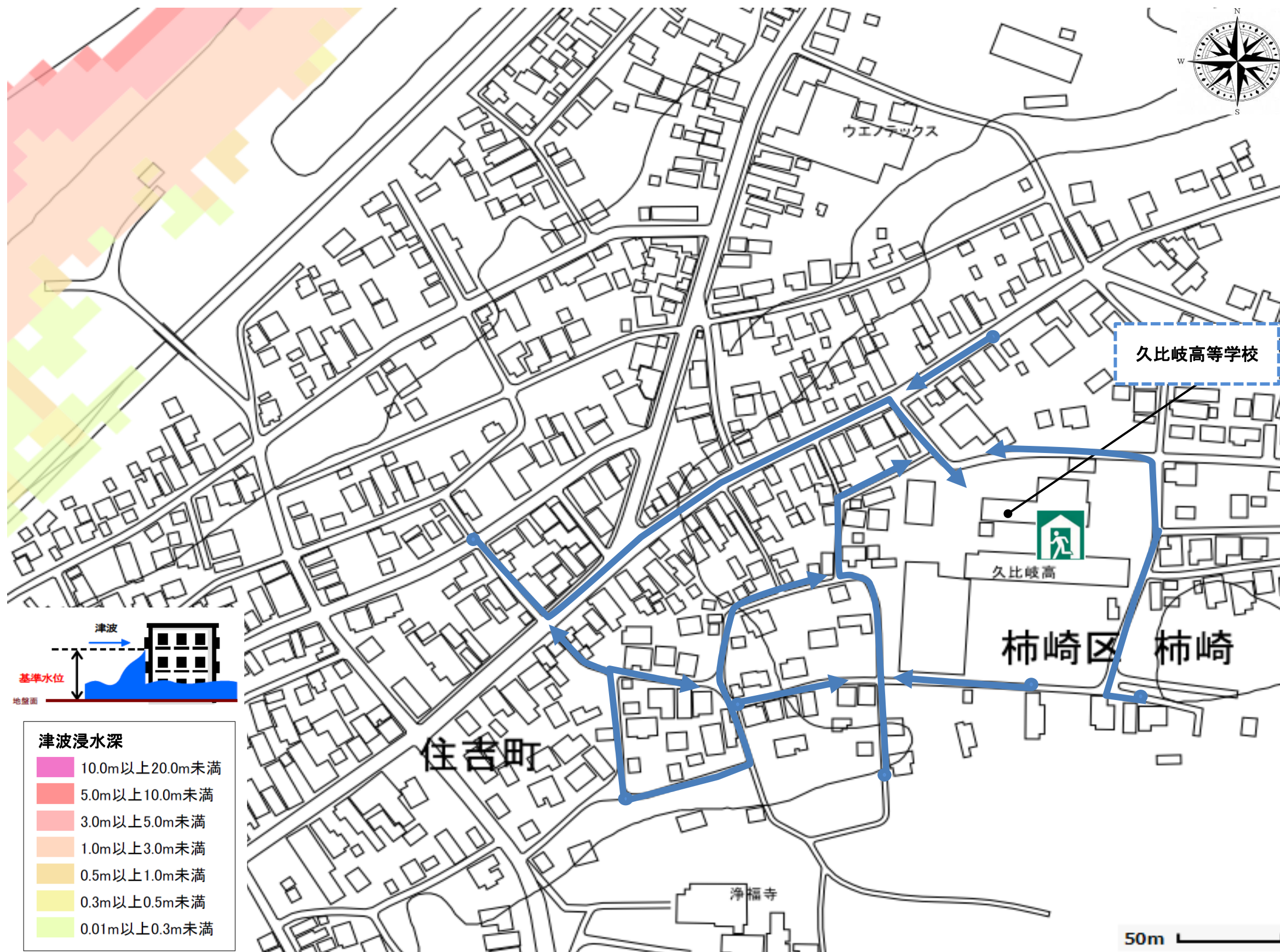
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所等に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・久比岐高等学校
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定範囲外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【第五区町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
・ 久比岐高等学校
- 避難行動の流れ
・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【第六区町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

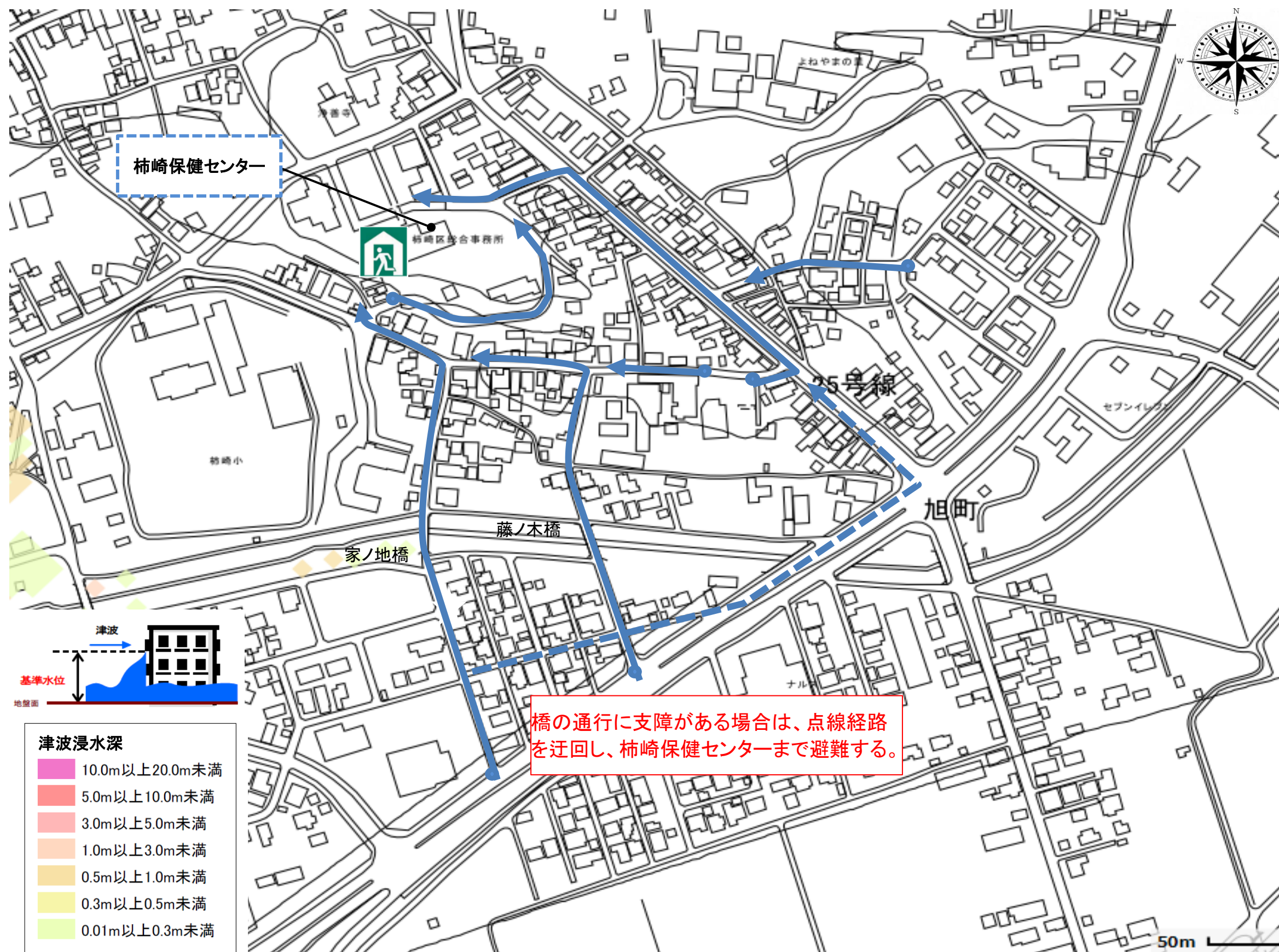
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、町内または地域ごとにあらかじめ定められた指定緊急避難場所等に向かいます。
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・柿崎保健センター
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。橋の通行に支障がある場合は、団地を通して避難してください。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定範囲外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【第六区町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 指定緊急避難場所兼指定避難所
 - ・ 柿崎保健センター
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 橋の通行に支障がある場合の迂回経路は、川沿いを通らないで団地を通る。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【第八区町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
- ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋（貴重品袋）や避難時の装備・服装の準備
- ・町内でオリジナルの「貴重品袋」を配布しています。貴重品などを収納し、災害時の持出しに備えましょう。また、避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・収納品：乗用調剤薬局、お薬手帳、老眼鏡、補聴器、預金通帳、印鑑、診察券、保険証、義歯（入れ歯）、カイロ、体温計、マスク、アルコール消毒液、携帯電話
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
- ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・町内では、区民会館で避難経路や避難目標地点などを掲示しています。
 - ・避難経路などは、避難行動訓練の参加を通じて、理解し会得しておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
- ・町内会で定期的に、防災行政無線戸別受信機の受信感度を確認する行事を計画しています、お知らせなどが受信できるかどうか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

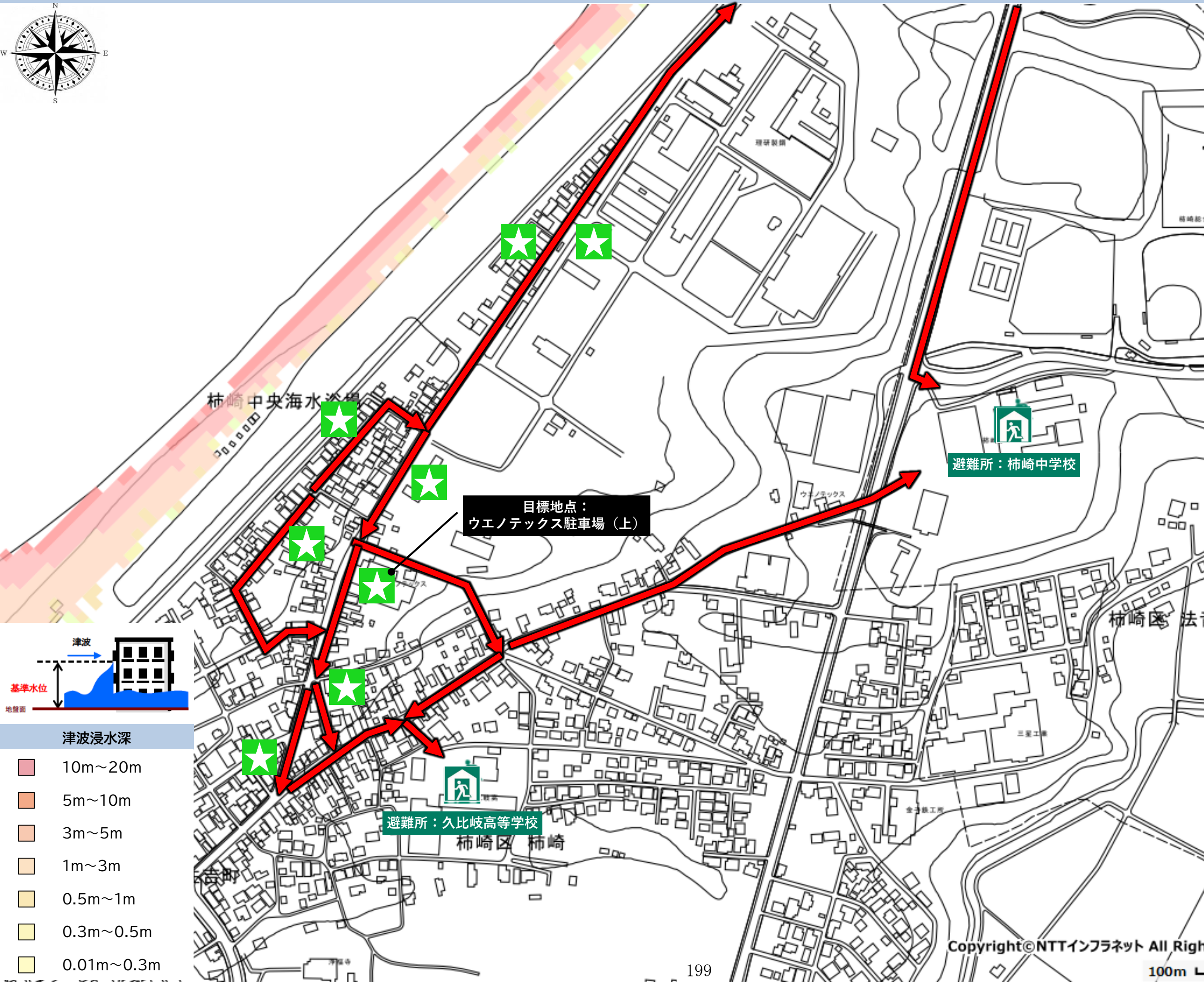
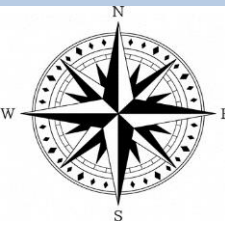
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
- ・町内会では、区内で区民戸籍を作成し支援者を把握し、第八区独自で、避難行動要支援者の支援のための取組を進めています。
- ⇒ 避難経路の除雪
- ・高齢者宅の玄関付近は、各分区で近隣区民が互助除雪して通路の安全確保に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
- ・隣近所の互助意識を高めます。
 - ① 集合場所、避難目標地点、指定緊急避難場所等の役割を理解して行動できるようにする。
 - ② これらの位置・経路をパネルで確認し理解する区民会館での学習会の実施。
 - ③ 区民会館に避難グッズ、大型のパネル地図、ハザードマップ等を常時確認、学習できる防災拠点化の取組を進めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
- ・点検結果に基づき、改善を実施します。
 - ・環境の変化と社会情勢のニーズに対応して、都度点検を実施します。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、「貴重品袋」を用意し、避難時の装備を身につけ、避難の準備をしましょう。 4 分区長は、防災器具の準備をする 避難時間に留意し、防災無線機と携行用個別支援カード集を携行します。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNSでも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット上着・セーター 等 2 貴重品など 「貴重品袋」に入れておいたものを携行します。 3 その他 体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液と非常食 3 日分を携行します。	1 「避難完了標識」を避難終了の合図として玄関に掲げます。分区長は全体の避難状況を確認します。（標識の黄色タオルは、町内で配布を完了しています。） 2 原則として徒歩と車併用避難とする。 3 可能な限り近隣同士協力し避難する。 4 集合場所で近隣者を確認し、避難します。集合場所には留まらないようにします。 5 避難目標地点に避難します。会長、副会長、防災士分区長は避難した担当避難所の分区民を把握します。 6 町内最寄りの指定緊急避難場所である久比岐高等学校及び柿崎中学校へ、分区長の指示に従って迅速に避難します。 7 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 8 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 9 浸水想定外の範囲だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿は、区民会館の防災拠点展示物に保管し、有事の際に区民が確認できて使用可能とする。 3 分区長は、携行型の要支援者個別計画カードと名簿を携行して現場で活用する。（町内会長も携行、区民に周知） 4 リヤカー、車いすは実態に対応できるよう補充を計画する。 5 要支援者に対し、近所の支援者を決めておく。	

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【第八区町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所
兼指定避難所



指定緊急避難場所



指定緊急避難場所
(津波避難ビル)



町内会が定めた
避難目標地点



避難上の注意点



指定緊急避難場所兼指定避難所

- ・久比岐高等学校
- ・柿崎中学校

※津波発生時は、浸水想定区域外への避難を原則とする。



避難目標地点

- ・ウエノテックス駐車場(上) 他
- ・分区集合場所



避難行動の流れ

- ・「避難完了標識」を玄関に掲げ、避難行動を開始する。
- ・避難行動は、徒歩と車併用避難とする。
- ・集合場所で隣近所の人を確認し助け合って避難目標地点に集合する。(会長、副会長、防災士、分区長は分区集合場所でのチェック)
- ・指定緊急避難場所の「久比岐高等学校」及び「柿崎中学校」へ避難する。
- ・津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。

Copyright©NTTインフラネット All Right

100m

1 津波から避難するための事前準備

- (1) ひとりひとりが準備しておくこと
- ⇒ 津波災害の特性などの把握

・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備

・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。

・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認

・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。

・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認

・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。

・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。
- (2) 地域（町内会）で準備しておくこと
- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援

・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪

・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施

・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施

・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

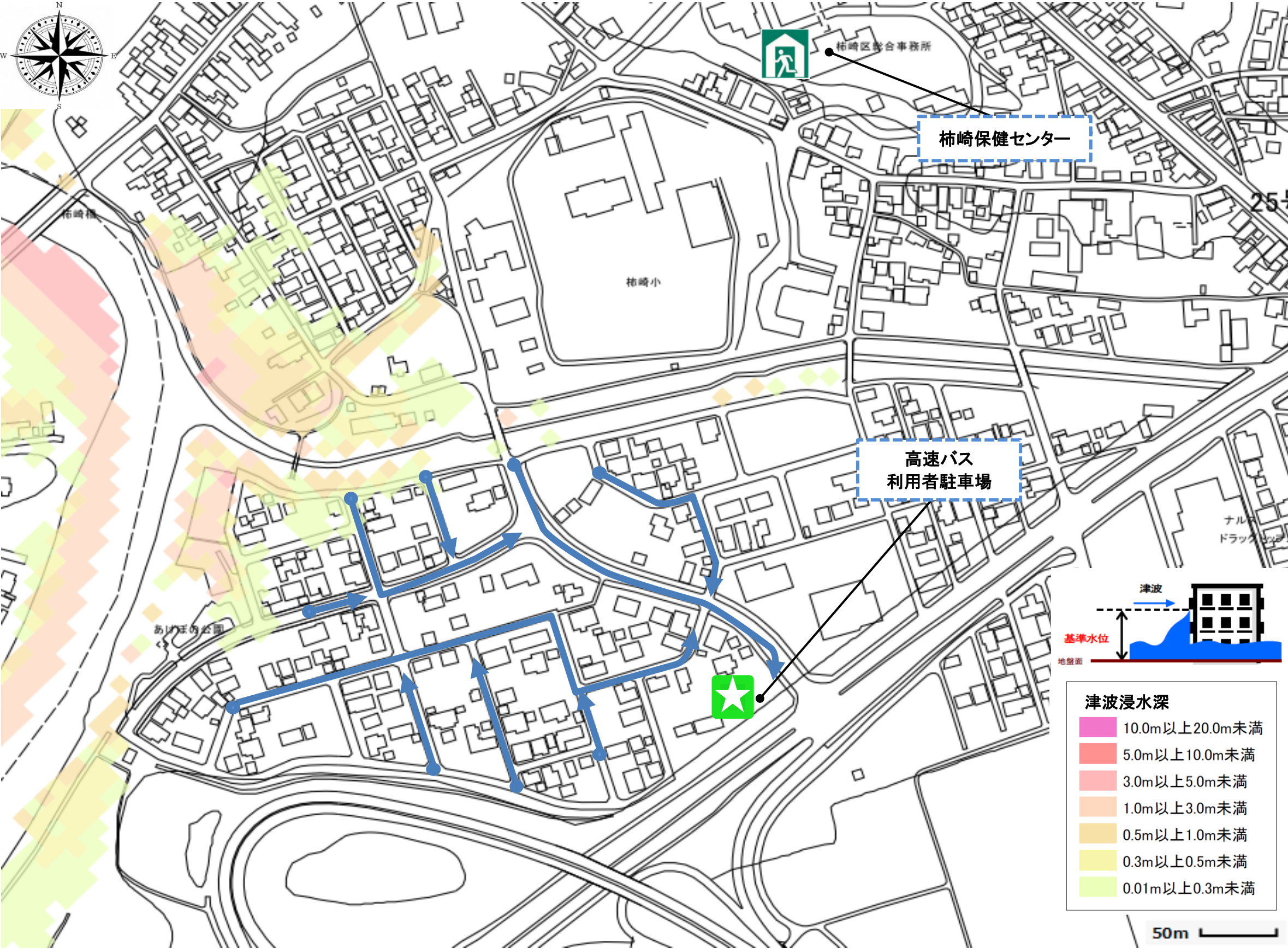
(1) 避難開始前の行動 1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。 2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。 3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	(2) 津波に関する情報の入手方法 1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。 2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装 1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等 2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等 3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	(4) 避難の方法・避難先 1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々で避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、速やかに避難目標地点に向かいます。その後、自宅に被害があり、住み続けるのが困難な場合など、状況に応じて、指定緊急避難場所等に向かいます。 ○避難目標地点 ・高速バス利用者駐車場 ○指定緊急避難場所兼指定避難所 ・柿崎保健センター 4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定範囲外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。
(5) 避難行動要支援者の支援方法 1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	

柿崎区柿崎川右岸地域

避難行動計画【あけぼの町内会】

避難経路図

令和3年2月版



地域の情報	
指定緊急避難場所兼指定避難所	
指定緊急避難場所(津波指定)	
指定緊急避難場所(津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた避難目標地点	

避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・ 高速バス利用者駐車場
- 指定緊急避難場所兼指定避難所
 - ・ 柿崎保健センター
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とするが、道路交通状況を注視の上、車で緊急避難を行う。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【竹鼻町内会】

1 津波から避難するための事前準備

(1) ひとりひとりが準備しておくこと

- ⇒ 津波災害の特性などの把握
 - ・上越市民防災ガイドブックや上越市津波ハザードマップ（災害予測地図）などで、津波の特性について学習しておきましょう。
- ⇒ 非常用持出袋や避難時の装備・服装の準備
 - ・津波は、警報等の解除まで時間がかかることがあります。避難先で数日間過ごすことになる場合に備え、非常用持出袋や避難時の装備・服装を準備しておきましょう。
 - ・上越市民防災ガイドブックや津波ハザードマップ（災害予測地図）には、準備しておくべきことの詳しい内容が載っていますので、よく読んでおきましょう。
- ⇒ 地域の避難経路、避難先の確認
 - ・避難行動計画の避難経路図や津波ハザードマップ（災害予測地図）を見て、自宅や職場・学校などからの避難経路や避難先を確認しておきましょう。
 - ・家庭や職場で津波発生時の取り決めや集合場所などを話し合っておきましょう。
- ⇒ 津波の情報や市からの緊急のお知らせの入手方法の点検や確認
 - ・戸別受信機で、防災行政無線が受信できるか確認しておきましょう。
 - ・緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールを受信できるか確認しておきましょう。

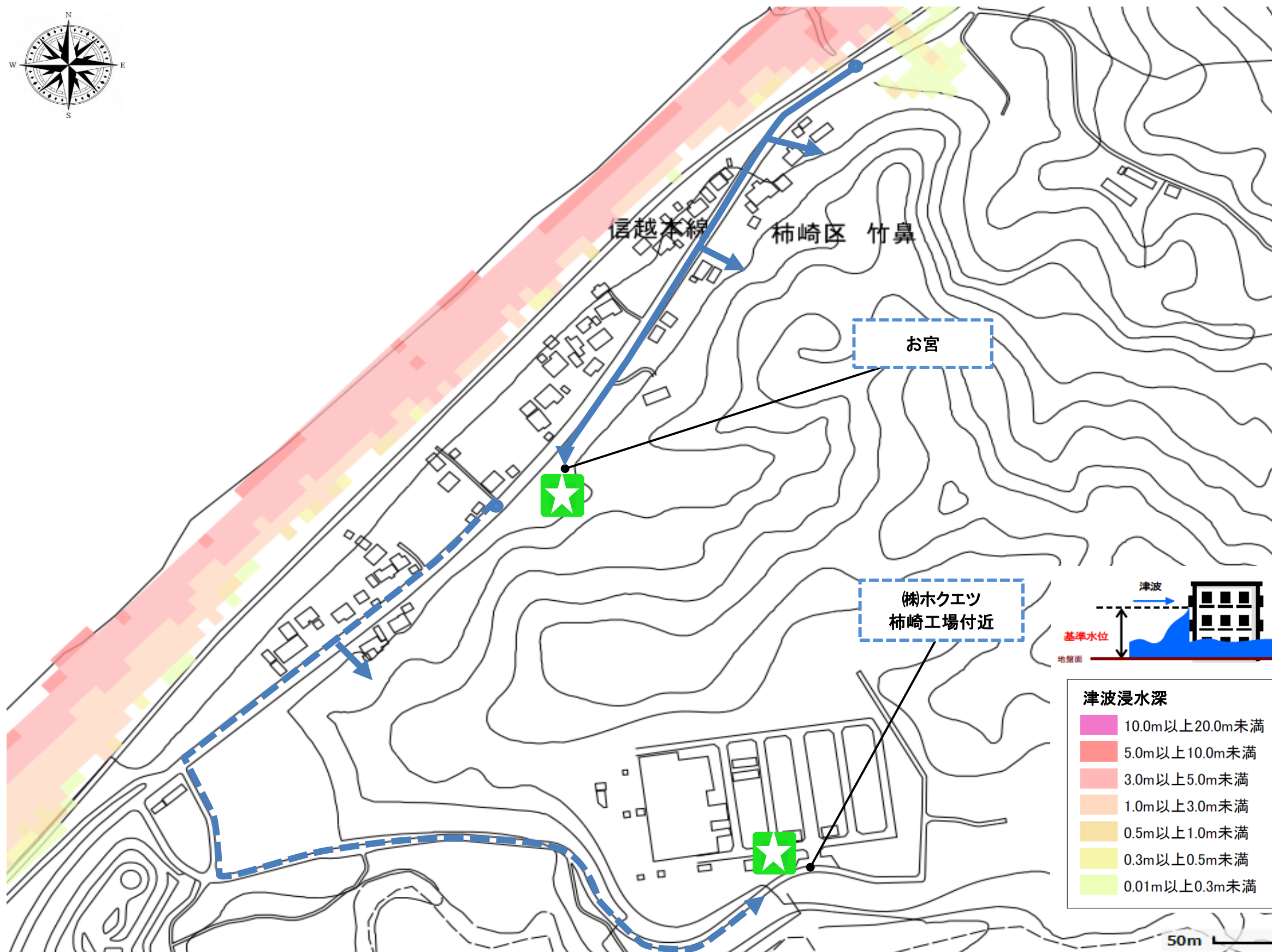
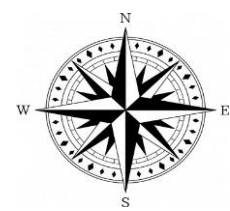
(2) 地域（町内会）で準備しておくこと

- ⇒ 避難行動要支援者の避難支援
 - ・要支援者情報の共有と個別計画の作成推進を図っています。
- ⇒ 避難経路の除雪
 - ・冬期の津波発生に備え、避難経路は日ごろから除雪に努めます。
- ⇒ 防災訓練の実施
 - ・町内会は、毎年 1 回、津波に備えた防災訓練の実施に努めます。
- ⇒ タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施
 - ・町内会は、地域の危険箇所を把握するため、毎年 1 回、タウンウォッチング（避難経路の点検等）の実施に努めます。

2 津波からの避難マニュアル（町内会のとりきめ）

(1) 避難開始前の行動	(2) 津波に関する情報の入手方法
1 揺れがおさまるまで身の安全を図る 原則として地震で揺れたら避難しますが、まずは机の下などに隠れて、落下物などから身を守りましょう。	1 防災行政無線・戸別受信機 Jアラートによる地震・津波の情報をお伝えします。
2 家族や財産を守る 火を消し、初期消火をしましょう。また、家族の安否を確認しましょう。	2 携帯電話・スマートフォン 市域内にいる方には緊急速報「エリアメール」・緊急速報メールで地震・津波の情報をお伝えします。また、上越市安全メール・SNS でも補完情報などをお伝えします。
3 余震に注意し、避難の準備をする 室内でガラスや落下物から身を守るためにスリッパや靴を履きましょう。また、非常用持出袋を用意しましょう。	
(3) 避難時に持ち出すものや装備・服装	(4) 避難の方法・避難先
1 動きやすく、安全な装備・服装 軍手、スニーカー、雨具、ヘルメット 上着 等	1 原則として徒歩で避難します。 2 原則として個々に避難しますが、可能な限り近隣に声を掛けて避難します。 3 原則として、避難目標地点に向かいます。（時間帯や気象状況によっては、自宅での垂直避難を行います。）
2 非常用持出袋の中身 非常食、懐中電灯、携帯ラジオ、ライター、体温計、マスク、ウェットティッシュ、アルコール消毒液 等	○避難目標地点 ・お宮 ・(株)ホクエツ柿崎工場付近 ※その各所の標高の高い場所
3 貴重品や日用品 財布、携帯電話 等	
(5) 避難行動要支援者の支援方法	
1 日ごろから、コミュニケーションを図り、状況の把握に努めましょう。 2 要支援者名簿を町内会で共有しておきます。 3 できるだけ、声を掛け合って、協力して避難しましょう。	4 原則として津波の進入方向に避難することは、控えてください。川や水路に近付くことも危険です。 5 津波警報等が解除されるまで、独自の判断で自宅に戻ってはいけません。 6 浸水想定範囲外だから安全とは限りません。できるだけ高い場所を目標に避難しましょう。

柿崎区柿崎川右岸地域 避難行動計画【竹鼻町内会】 避難経路図



地域の情報

指定緊急避難場所 兼指定避難所	
指定緊急避難場所 (津波指定)	
指定緊急避難場所 (津波避難ビル)	
避難経路	
町内会が定めた 避難目標地点	

避難上の注意点

- 避難目標地点
 - ・ お宮
 - ・ 柿ホクエツ柿崎工場付近
- 避難行動の流れ
 - ・ 避難目標地点を目指し、避難行動を開始する。
 - ・ 避難行動は、徒歩によることを原則とする。
 - ・ 各所、高い場所に避難し、状況に応じて、柿ホクエツ柿崎工場付近に避難する。
 - ・ 夜間においては、自宅での垂直避難も有効である。
 - ・ 津波は繰り返し襲来するおそれがあるため、独自の判断で自宅に戻ることはせず、警報等の解除まで避難行動を継続する。
- 緊急持出品
 - ・ 夜間の避難に備え、懐中電灯を携帯し避難する。